

岡山大学大学院社会文化科学研究科の教育における3つの方針（ポリシー）

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部との3つの学部を基盤とし博士前期課程と博士後期課程から構成される学際型・融合型の大学院です。博士前期課程には、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻があり、人文社会科学系のほとんどの学問領域を網羅しています。

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成しています。また地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済に貢献する大学院として機能しています。

（1）入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

博士前期課程においては、最先端の研究に裏づけられた教育を施すほか、多様な分野に関わる複合的・学際的な研究を通して、広く文学・法学・経済学の各分野に通じた高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた研究者や専門人の育成をめざすとともに、深い教養と国際的な感覚を身につけ、また物事を多角的に観察・洞察し、柔軟に社会の変化に対応できる能力の向上を図っています。

博士後期課程では、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織、個人、地域社会等を対象にした、多様な、そして学際的なアプローチからの研究を支援する大学院教育プログラムを提供しています。

専門分野に関する基礎学力と柔軟な思考力、豊かな知性と感性を備え未知に挑戦する強い目的意識と探求心を持って、学術研究に意欲的に取り組む気概のある人を、国内外から広く受け入れています。

博士前期課程の組織経営専攻および地域公共政策プログラムにおいては、企業や官公庁・自治体等の個別具体的な組織の運営・経営のためのより適切な能力を身につけようとする人を受け入れています。

（2）教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程では、文学部・法学部・経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮したカリキュラムを編成し、今日における新たな教育に対する要請に応えるべく、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供できる体制が整備されています。組織経営専攻および地域公共政策プログラムにおいては、地元の企業や官公庁・自治体の現場の経験に触れることができるよう配慮されています。

博士後期課程では、当研究科の理念である「共生社会の構築」等に基づいて、文化、組織、個人、地域社会等を対象にした、多様な、そして学際的なアプローチからの研究を支援する大学院教育プログラムを提供しています。

（3）学位授与の方針（ディプロマポリシー）

博士前期課程では、修士論文などに纏めた研究成果が当研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、高度な専門知識を修得の上、特定の課題についての研究を遂行する能力を身につけるとともに、関連の諸課題に的確に対処し得る思考力と行動力を備えている者に対して修士（文化科学、文学、法学、経済学、公共政策学、経営学＝MBA、学術）の学位を授与しています。

博士後期課程では、自らが研究課題を探究して実施した研究を博士論文に纏め、その研究成果が学術的創造性に富み、且つ当研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、自立した研究遂行能力と相応の広い学識を修得している者に対して博士（文化科学、文学、法学、経済学、経営学、学術）の学位を授与しています。